

第12期末 (2016年2月15日)	
基準価額	17,132円
純資産総額	984億円
騰落率	△9.8%
分配金	0円

ニッセイ 日経225インデックスファンド

追加型投信／国内／株式／インデックス型

交付運用報告書

作成対象期間：2015年2月17日～2016年2月15日

第12期 (決算日 2016年2月15日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて「ニッセイ日経225インデックスファンド」は、このたび第12期の決算を行いました。

当ファンドは、「ニッセイ日経225インデックスマザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に国内の証券取引所上場株式等に投資することにより、日経平均株価の動きに連動する成果を目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも是非ご継続頂き、いっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

 **0120-762-506**(コールセンター)

受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。



<http://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

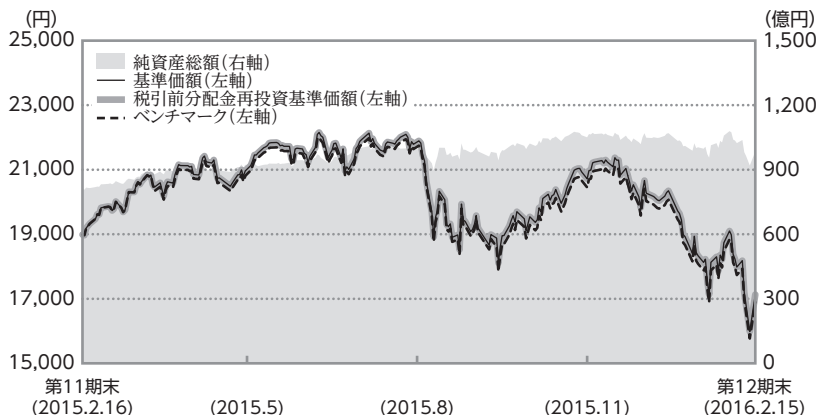
- 当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。上記ホームページの「基準価額一覧」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「商品ページ」において、運用報告書(全体版)をダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ニッセイ日経225インデックスファンド

運用経過

(2015年2月17日から2016年2月15日まで)

基準価額等の推移



第12期首	18,987円
第12期末	17,132円
既払分配金	0円
騰落率 (分配金再投資ベース)	△9.8%

- (注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) ベンチマークは日経平均株価としており、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。日経平均株価に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は、日経平均株価の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。日本経済新聞社は本商品の運用成果等を保証するものではなく、一切の責任を負いません。以下同じです。

■ 基準価額の主な変動要因

当期は、国内株式市場が下落したことから、基準価額も同様の動きとなりました。期初は堅調に推移しましたが、8月中旬に中国景気の減速懸念を背景として世界的に株式市場が急落したため、基準価額も下落しました。10月に入ると、欧州中央銀行(ECB)のドラギ総裁が追加金融緩和策の可能性を示唆したことなどをを受けて上昇基調に転じましたが、12月以降は、原油安や世界経済への懸念などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり株価が下落したことから、基準価額も下落基調で当期末を迎えました。

ニッセイ日経225インデックスファンド

1万口当たりの費用明細

項目	第12期		項目の概要
	2015年2月17日～2016年2月15日		
	金額	比率	
信託報酬	55円	0.269%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は20,380円です。
(投信会社)	(24)	(0.118)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(24)	(0.118)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託銀行)	(7)	(0.032)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	2	0.009	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
(先物・オプション)	(2)	(0.009)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用	0	0.002	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(監査費用)	(0)	(0.002)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	57	0.281	

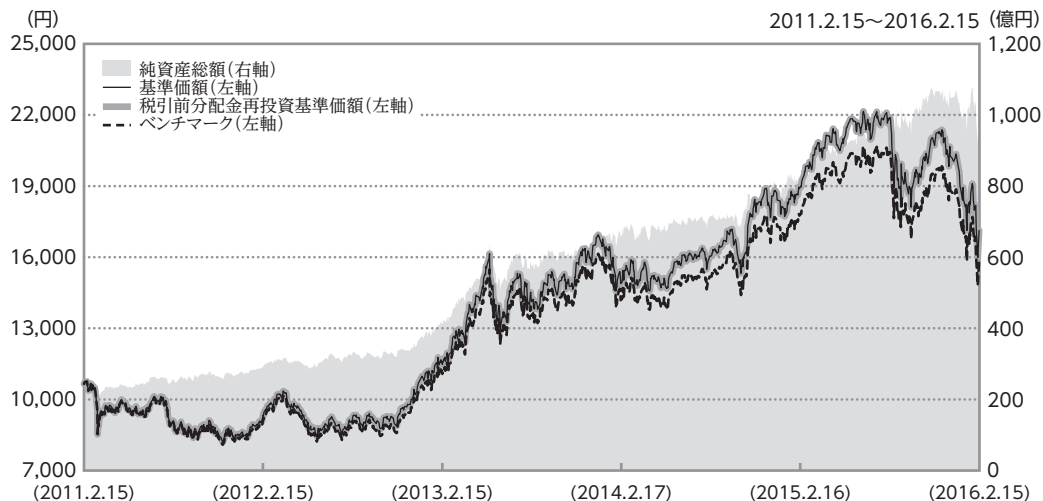
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ニッセイ日経225インデックスファンド

最近5年間の基準価額等の推移



(注) 税引前分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2011年2月15日の基準価額にあわせて再指数化しています。

決算日		2011年2月15日	2012年2月15日	2013年2月15日	2014年2月17日	2015年2月16日	2016年2月15日
基準価額 (分配前)	(円)	10,650	9,336	11,472	14,971	18,987	17,132
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	0	0	0	0	0
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△12.3	22.9	30.5	26.8	△9.8
ベンチマーク騰落率	(%)	—	△13.8	20.7	28.8	25.1	△11.0
純資産総額	(百万円)	23,853	29,454	41,177	66,381	81,286	98,469

ニッセイ日経225インデックスファンド

国内株式市況



(注) 指数はブルームバーグのデータを使用しています。

期初は、国内景気に対する回復期待や中国の金融緩和などを受けて、投資家の買い安心感が広がったことから、国内株式市場は上昇基調で推移し、その後も国内企業の好調な決算や米利上げ観測による円安進行などを背景として堅調に推移しました。

しかし、8月中旬に中国人民銀行（中央銀行）が人民元の基準値切り下げを発表したことで、中国景気の減速懸念が高まり世界景気に対する後退懸念へとつながったため、世界的に株式市場が急落し、その後も米利上げ時期に対する不透明感などを背景に乱高下する展開が続きました。

10月に入ると、E C B 総裁が追加金融緩和策の可能性を示唆したことなどを受けて、投資家のリスク回避姿勢が後退したため上昇基調に転じ、その後も米国の利上げ観測による円安の進行を背景として堅調に推移しました。

しかし、12月になると、原油安等を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことを背景に株価は軟調な推移となり、年明け以降も、中国経済への懸念が一段と強まったため下落しました。その後、日銀によるマイナス金利の導入を好感して上昇する場面もありましたが、原油安や円高進行などを受けて、下落基調のまま当期末を迎えました。

ニッセイ日経225インデックスファンド

ポートフォリオ

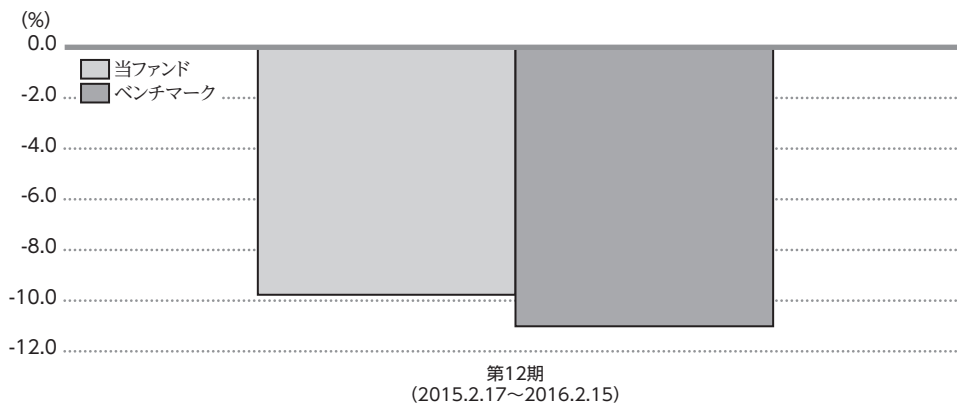
■当ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました。

■マザーファンド

当期も、日経平均株価に採用されている225銘柄に投資を行いました。
また資金の流出入などに対応するため、株価指数先物も一部活用しました。

ベンチマークとの差異



当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は-9.8%となり、ベンチマーク騰落率（-11.0%）を上回りました。

マザーファンドで株式の配当金を計上していることなどがプラスに働きましたが、おおむね日経平均株価に連動しました。

ニッセイ日経225インデックスファンド

分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、見送らせていただきました。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2015年2月17日 ～ 2016年2月15日
当期分配金（税引前） 対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	10,853円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、日経平均株価の動きに連動する成果を目標として運用を行います。

■マザーファンド

国内の証券取引上場株式等に投資し、日経平均株価の動きに連動する成果を目標として運用を行います。

ニッセイ日経225インデックスファンド

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

■ 組入ファンド

	第12期末 2016年2月15日
ニッセイ日経225インデックス マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

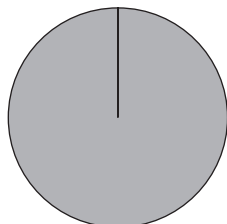
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■ 純資産等

項目	第12期末 2016年2月15日
純資産総額	98,469,938,128円
受益権総口数	57,477,482,926口
1万口当たり基準価額	17,132円

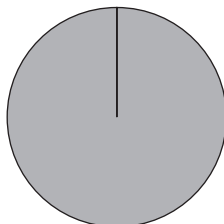
(注) 当期間中における追加設定元本額は66,523,046,145円、同解約元本額は51,857,316,815円です。

■ 資産別配分



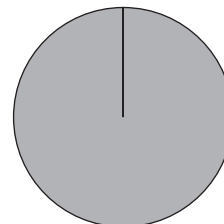
親投資信託受益証券
100.0%

■ 国別配分



日本
100.0%

■ 通貨別配分



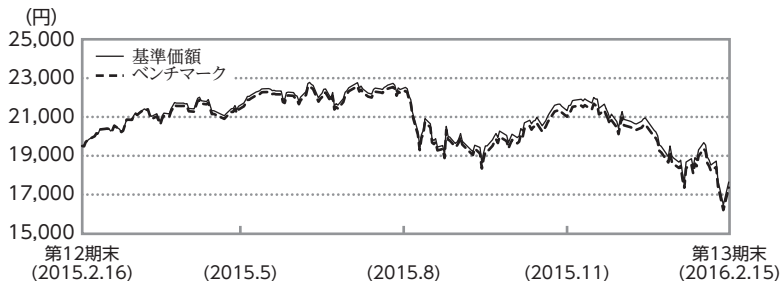
円
100.0%

(注) 資産別・国別・通貨別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

ニッセイ日経225インデックスファンド

ニッセイ日経225インデックスマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



(注) ベンチマークは日経平均株価としており、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。日経平均株価に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は、日経平均株価の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。日本経済新聞社は本商品の運用成果等を保証するものではなく、一切の責任を負いません。

■ 上位銘柄

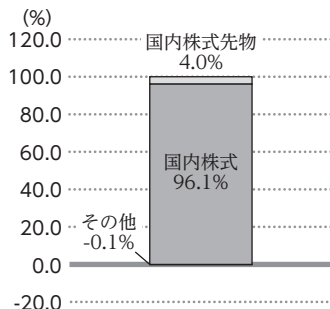
銘柄名	通貨	比率
ファーストリテイリング	円	7.8%
KDDI	円	4.2
ファナック	円	3.9
ソフトバンクグループ	円	3.1
京セラ	円	2.3
セコム	円	1.9
アステラス製薬	円	1.9
テルモ	円	1.8
ダイキン工業	円	1.8
エーザイ	円	1.7
組入銘柄数		225

■ 1万口当たりの費用明細

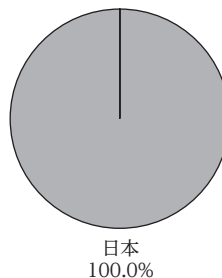
(2015.2.17~2016.2.15)

項目	金額
売買委託手数料	2円
(先物・オプション)	(2)
合計	2

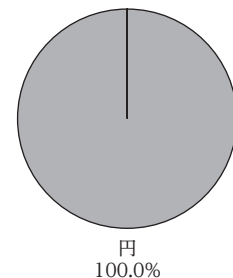
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものです。費用項目については2ページの注記をご参照ください。

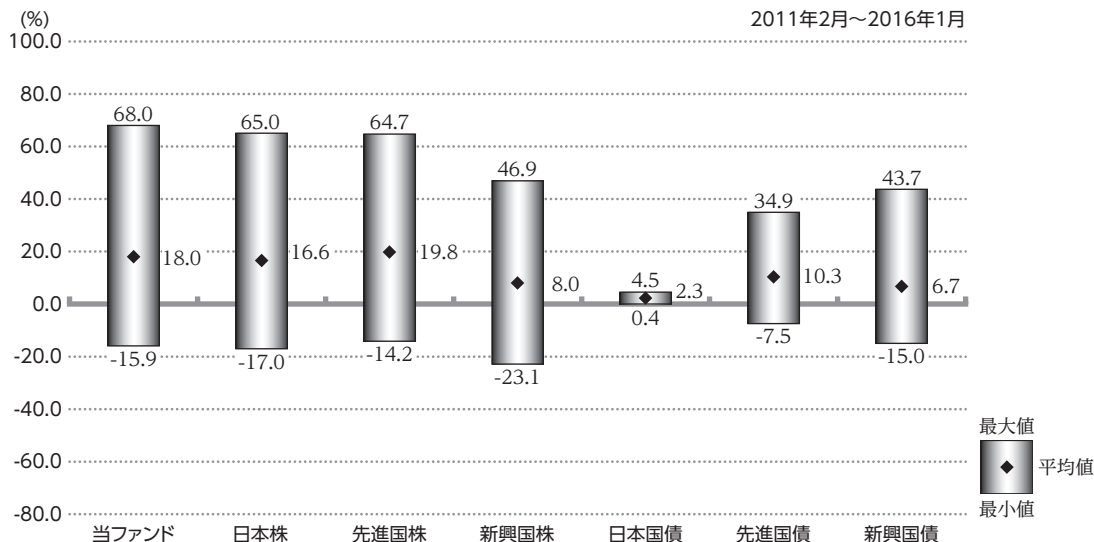
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2016年2月15日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

ニッセイ日経225インデックスファンド

参考情報

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 上記は、当ファンドの騰落率(税引前分配金再投資基準価額騰落率)と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。

(注2) 2011年2月～2016年1月の5年間における1年リターンの平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

< 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数 >

日本株・・・TOPIX(東証株価指数)(配当込み)

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円ベース)

- すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 海外の指数は、「為替ヘッジなし(対円)」の指数を採用しています。

- TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。
- MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPI 国債とは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCが開発した債券指数で、著作権、商標権、知的財産権、その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、JPモルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

お知らせ

■運用体制の変更について

運用部門の担当役員2名（取締役執行役員CO-CIO、執行役員CO-CIO）のうち1名（取締役執行役員CO-CIO）が担当をはずれました。

なお、残る1名については同日付で執行役員CO-CIOから取締役執行役員CIOに昇任しています。
(2015年3月25日)

ニッセイ日経225インデックスファンド

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／国内／株式／インデックス型	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	主にニッセイ日経225インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、日経平均株価（225種・東証）の動きに連動する成果を目標として運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ日経225 インデックスファンド	ニッセイ日経225インデックスマザーファンド受益証券
	ニッセイ日経225 インデックス マザーファンド	国内の証券取引所上場株式等のうち、日経平均株価（225種・東証）に採用されている銘柄
運 用 方 法	ニッセイ日経225 インデックスファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資は行いません。
	ニッセイ日経225 インデックス マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。	